



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 日本管財株式会社

上場取引所 東

コード番号 9728 URL <https://www.nkanzai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 慎太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務統括部長 (氏名) 岡元 重樹

TEL 03-5299-0863

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,419	3.3	1,466	7.0	1,440	7.1	884	6.6
2020年3月期第1四半期	25,262	12.7	1,576	14.8	1,550	6.6	947	2.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 594百万円 (25.7%) 2020年3月期第1四半期 800百万円 (43.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	23.67	
2020年3月期第1四半期	26.24	26.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	75,420	52,599	68.2
2020年3月期	77,024	53,029	67.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 51,405百万円 2020年3月期 51,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		25.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	4.7	3,000	10.7	3,100	10.2	1,900	12.0	50.82
通期	108,000	1.6	7,000	2.1	7,400	2.3	4,600	5.8	123.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	41,180,306 株	2020年3月期	41,180,306 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,796,758 株	2020年3月期	3,796,758 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	37,383,548 株	2020年3月期1Q	36,109,883 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に掲記されている科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により景気は急速に悪化し、国内外における経済活動の長期的な停滞が懸念され、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

不動産関連サービス業界におきましては、オフィスや商業ビルの空室率は、主要都市部を中心に依然として低い状況で推移し、また複合ビルの建て替えプロジェクトも増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症による影響で、今後は厳しい経営環境が継続することが予想されます。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、顧客ニーズに応えた良質なサービスを継続的に提供するため、先進的な技術と対応力で「最適な建物管理」を追求し続け、建物の資産価値と収益性の向上の実現に努めております。

また、主力のビル管理業務の一層の強化・向上を図るとともに、PFI事業、公共施設マネジメント事業など、積極的な事業展開を図っております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の対応につきましては、お客様を始めとする関係者の皆様と社員の安全・安心を第一に考え、現場スタッフを含む全社員に対するマスクの着用や手洗い・アルコール消毒を徹底するとともに、テレビ会議システムの活用や在宅勤務・時差出勤の奨励など、社内外への感染防止の取り組みを継続しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、工事関連業務の受注が伸び悩んだことにより、244億19百万円(前年同四半期比3.3%減)となりました。

利益面におきましても、仕入形態の見直しや時間管理の徹底を図ったものの、人件費等の増加により、営業利益は14億66百万円(前年同四半期比7.0%減)、経常利益は14億40百万円(前年同四半期比7.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億84百万円(前年同四半期比6.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、工事関連業務の受注が伸び悩んだことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は176億11百万円(前年同四半期比0.4%減)となりました。

利益面におきましても、コストの削減に努めてまいりましたが、人件費等の増加により、セグメント利益は21億30百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

(住宅管理運営事業)

マンション及び公営住宅の管理を主体とする住宅管理運営事業につきましては、工事関連業務の受注が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は37億57百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。

利益面におきましても、コスト削減に努めてまいりましたが、人件費等の増加により、セグメント利益は3億5百万円(前年同四半期比6.3%減)となりました。

(環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の生活環境全般にかかる公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、契約更改については堅調でありましたが、工事関連業務等の受注が伸び悩んだことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は25億59百万円(前年同四半期比0.5%減)となりました。

利益面におきましては、料金改定による原価率の改善に加え、適正な人員配置を中心にコスト削減に努めてまいりました結果、セグメント利益は3億57百万円(前年同四半期比6.5%増)となりました。

(不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、ホテル関係のマスターリース契約による賃料収入が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億22百万円(前年同四半期比40.8%減)、セグメント利益は6百万円(前年同四半期比67.2%減)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント業務の多くが中止となったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億62百万円(前年同四半期比57.4%減)、セグメント利益は51百万円(前年同四半期比57.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、売上債権の回収による売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ16億3百万円(2.1%減)減少して754億20百万円となりました。

負債は、買掛金や未払法人税等の支払いにより、前連結会計年度末に比べ11億72百万円(4.9%減)減少して228億21百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等がありましたが、為替変動に伴う為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億30百万円(0.8%減)減少して525億99百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント増加し68.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く環境は、引き続き予断を許さない状況で推移することが予想されます。

業績予想に関しましては、概ね2020年5月7日に公表いたしました業績予想のとおり推移しており、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,588	28,366
受取手形及び売掛金	13,989	12,459
事業目的匿名組合出資金	81	80
貯蔵品	138	148
販売用不動産	4,302	4,284
未収還付法人税等	57	67
その他	1,647	2,133
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	48,797	47,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,111	3,076
機械装置及び運搬具（純額）	33	30
工具、器具及び備品（純額）	483	472
土地	1,167	1,167
リース資産（純額）	236	275
建設仮勘定	222	224
有形固定資産合計	5,254	5,247
無形固定資産		
電話加入権	46	46
ソフトウェア	454	422
のれん	1,686	1,652
リース資産	4	3
ソフトウェア仮勘定	47	45
無形固定資産合計	2,239	2,170
投資その他の資産		
投資有価証券	14,633	14,286
長期貸付金	577	588
長期前払費用	66	62
敷金及び保証金	3,697	3,792
会員権	391	391
退職給付に係る資産	518	536
繰延税金資産	525	501
その他	381	371
貸倒引当金	△59	△58
投資その他の資産合計	20,732	20,471
固定資産合計	28,226	27,889
資産合計	77,024	75,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,587	7,119
1年内返済予定の長期借入金	375	375
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	25	25
リース債務	87	93
未払費用	2,215	3,563
未払法人税等	1,070	389
未払消費税等	1,273	1,239
預り金	282	488
前受金	337	424
賞与引当金	714	120
資産除去債務	1	-
その他	49	58
流動負債合計	15,019	13,897
固定負債		
長期借入金	1,125	1,031
長期ノンリコースローン	2,953	2,947
リース債務	195	226
繰延税金負債	266	272
退職給付に係る負債	548	212
長期預り保証金	2,598	2,666
資産除去債務	253	259
持分法適用に伴う負債	40	90
その他	992	1,218
固定負債合計	8,974	8,924
負債合計	23,994	22,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	3,785	3,785
利益剰余金	47,833	47,783
自己株式	△2,773	△2,773
株主資本合計	51,845	51,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,621	1,855
為替換算調整勘定	△1,227	△1,806
退職給付に係る調整累計額	△460	△439
その他の包括利益累計額合計	△65	△390
非支配株主持分	1,249	1,193
純資産合計	53,029	52,599
負債純資産合計	77,024	75,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	25,262	24,419
売上原価	20,139	19,300
売上総利益	5,123	5,118
販売費及び一般管理費		
販売費	162	133
人件費	1,946	2,052
賞与引当金繰入額	84	89
退職給付費用	61	72
旅費交通費及び通信費	269	213
消耗品費	114	132
賃借料	251	256
保険料	121	122
減価償却費	91	96
租税公課	64	68
事業税	73	79
貸倒引当金繰入額	3	2
のれん償却額	33	33
その他	268	299
販売費及び一般管理費合計	3,546	3,652
営業利益	1,576	1,466
営業外収益		
受取利息及び配当金	35	36
受取賃貸料	13	13
為替差益	-	2
その他	31	11
営業外収益合計	80	65
営業外費用		
支払利息	7	7
賃貸費用	16	16
持分法による投資損失	19	48
固定資産除売却損	0	7
為替差損	47	-
その他	15	10
営業外費用合計	106	90
経常利益	1,550	1,440
税金等調整前四半期純利益	1,550	1,440
法人税、住民税及び事業税	476	607
法人税等調整額	85	△81
法人税等合計	562	525
四半期純利益	988	915
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	947	884

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	988	915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	237
為替換算調整勘定	7	0
退職給付に係る調整額	13	21
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△580
その他の包括利益合計	△187	△320
四半期包括利益	800	594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	759	559
非支配株主に係る四半期包括利益	40	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	建物管理 運営事業 (百万円)	住宅管理 運営事業 (百万円)	環境施設 管理事業 (百万円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	17,674	3,909	2,572	375	729	25,262	—	25,262
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	122	122	△122	—
計	17,674	3,909	2,572	375	851	25,384	△122	25,262
セグメント利益	2,168	326	335	20	121	2,972	△1,395	1,576

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,395百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	建物管理 運営事業 (百万円)	住宅管理 運営事業 (百万円)	環境施設 管理事業 (百万円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	17,611	3,757	2,559	222	268	24,419	—	24,419
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	94	94	△94	—
計	17,611	3,757	2,559	222	362	24,513	△94	24,419
セグメント利益	2,130	305	357	6	51	2,851	△1,384	1,466

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,384百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。